



# 園 だ よ り

かなづき  
10月(神無月)号

令和8年9月30日  
千代田区立お茶の水幼稚園  
園長 伊藤 栄司



<http://www.schoolweb.ne.jp/chiyoda/ochanomizu-k>

## 科学絵本に込められたまなざし —かこさとしさんの世界—

長雨が続き、秋らしい晴れ間がなかなか見られない日々が続いています。青空が待ち遠しく感じられる一方で、草花が潤い、木々の葉がいつそう鮮やかになるなど、雨がもたらしてくれる恵みに気づくこともできます。子どもたちには、雨音に耳を傾けたり自然の変化を見つけたりしながら、見方を少し変えて雨の日ならではの楽しさを味わうことができるよう保育を進めています。外で遊べない時は、普段あまり手に取らない本を選びじっくりと読むのも雨の日の楽しみです。

### かこさとしさんの世界

子どもたちが日々手にする絵本には、可愛らしい絵や面白いストーリーを楽しむだけではなく、世界の不思議や仕組みをやさしく伝えてくれる力もあります。中でも、かこさとしさんの絵本は、科学的な視点を豊かに表現しながら、子どもたちの知的好奇心を自然に育ててくれる「科学絵本」として、長く親しまれています。

### ロングセラー絵本「かわ」

かこさとしさんは、「だるまちゃん」や「からすのパンやさん」などの物語で知られる一方、多くの科学絵本を世に送り出しています。工学博士の専門性を背景にしながらも、けっして難解ではなく子どもたちが自分の目で見て、考え納得していく過程を大切にしています。普段目にする「川」や「海」、アニメや映画に登場する「地球」や「宇宙」など、壮大なテーマを扱い世界の成り立ちや自然のつながりを一冊一冊の中に丁寧に描き出しています。

特に印象的なのは、特別で珍しい事象を描き出すだけではなく、身の回りにある普遍的なものを題材にしているところです。流れる川、広がる大地、命の誕生と進化など、「当たり前の世界」を見つめ直し、仕組みや意味をわかりやすく伝えることによって、子どもたちが科学の世界へと足を踏み入れる手助けをしてくれます。かこさとしさんの絵本を読んで科学に興味をもち、もっと知りたい、もっと調べたいと世界が広がる子どもも少なくありません。

### 対話をしながら読み聞かせ

園での読み聞かせの時間は、科学絵本の魅力が最も生きるひとときです。ページをめくりながら、「どうして川は流れるのだろう」「この先には何があるのかな」「なにがみえる？」と子どもたちと問いを共有することで、絵本は単なる読み物から「一緒に考える体験」へと変わっていきます。子どもたちの「不思議だな」「知りたいな」の気持ちに寄り添いながら、大人も一緒に考え、発見していく楽しみがあります。

特に隅々まで描き込まれた絵の細やかさにもぜひ注目してください。一つの場面の中に、多くの情報や視点が描き込まれており、子どもたちは何度もページを行き来しながら新たな発見をします。何度も同じページを確認することで、「見る力」「気づく力」「考える力」が自然と育まれるのです。

### 科学の世界への第一歩

ご家庭でも、ぜひお子さまと一緒にかこさとしさんの科学絵本を手にとってみてください。読み聞かせの中で交わされる何気ない会話や小さな気づきは、子どもたちにとって大きな学びの種になります。また保護者の皆様にとっても、お子さまの新たな一面に出会う貴重な時間になります。

絵本を通して広がる科学の世界は、特別なものではなく身の回りにあふれています。親子で同じページを見つめ、同じ問いや発見を共有するひとときが、未来へとつながる豊かな学びになっていくことを願っています。